

# もりおか歴文館だより

Rekibunkan News Vol. 5  
〈2015.3.28 発行〉

- ◆館長だより「ふたば」vol.5
- ◆平成26年度 講座・イベントのご報告
- ◆平成26年度企画展のご報告
- ◆第12回企画展「江戸のなぞなぞ 判じ絵展」  
関連企画「みんなで作ろう! 盛岡旧町名判じ絵図」成果発表
- ◆歴文館スタッフ伝言板 ~その四~
- ◆学芸トピックス「官兵衛の兜を盛岡へもたらした栗山大膳」
- ◆所蔵資料紹介「南部利直宛伊達政宗書状」
- ◆刊行物について
- ◆インフォメーション



## ◆桜花帖(跡見玉枝筆、昭和初期)

明治39年(1906)に完成した皇室の庭園である新宿御苑(現国民公園)内の桜を描いた作品。空間を活かし、柔軟ながらも写実的な58種類もの桜が2冊に渡り描かれている。現在、新宿御苑の桜は65種ほどあり、1000本を超える桜が春になり咲き乱れる姿は壮観である。

作者である跡見玉枝(1859~1943)は南部家ともゆかりの深い女流画家で、南部家第43代当主 南部利淳夫人である嚴子が幼いころより師事していた人物である。「桜の画家」と称されるほど桜花を愛し、その生涯で数多くの桜を題材とした作品を手がけた。



## 館長だより ひいたば vol.5

もりおか歴史文化館（通称：歴文館）は2011年7月の開館から、早いもので間もなく4年目を迎えます。入館者は2015年3月現在で83万人を超え、多くの皆様に支えられてここまで来ることができたと、改めて感謝を申し上げます。

平成26年度は新たな試みとして「歴文館リーディングカフェ」が始まりました。記念すべき第1回目は、岩手を代表する詩人・童話作家である宮沢賢治の『セロ弾きのゴーシュ』を、私と劇団「現代時報」代表の高村明彦さんが朗読、チェロ奏者 三浦祥子さんによる演奏でお送りしました。お客様には美味しいお茶とお菓子を食べながら、まるでカフェにいるような気分で舞台をご覧いただきました。次の公演を望むお声をたくさんいただき、大変感激しております。



歴文館でリーディングカフェの様子

今後とも皆様に愛され、活用される館を目指し、職員一同邁進してまいります。

皆様のお越しを心からお待ちもうしあげております。ぜひ一度、おでっておくれってくなんせ。

もりおか歴史文化館館長 畑中美耶子

## 平成26年度 講座・イベントのご報告

開催した講座・イベントの一部をご紹介いたします。

### 畠中美耶子の館長講座

平成25年度から始まった本講座は、平成26年度で13回目を迎えました。櫻山神社宮司の坂本広行氏、岩手大学名誉教授の細井計氏、茶道裏千家正教授の平栗宗貞氏、元岩手県立博物館館長の金野静一氏をお招きした各講座は、多くの皆様にご参加いただきました。

新年度からはさらに市民の皆様の多様なニーズにお応えできるよう、装いも新たに「れきぶん講座」として開催していきます。

### ◆夏休み自由研究相談室

恒例となりました夏休みお助け企画！平成26年度も多くの小学生の皆様から質問・相談をいただきました。今年度も8/1～8/16の期間に開催しますので、気軽にお声掛けください。



### ◆もりおか昔話

東北文化の日にあわせての特別イベントとして開催。昭和17年ごろから活動をつづけている女優の真木小苗氏、ナレーター・語り部としてご活躍されている小野寺瑞穂氏、そして館長 畠中美耶子の3人で、平成26年の干支である「午」にちなんだ岩手の昔話や伝説の語りを行いました。



### ◆折り紙で「官兵衛」の兜を作ろう！

大河ドラマ「軍師 官兵衛」で話題になった当館所蔵の「銀白檀塗合子形兜」を模した折紙の兜づくり。テーマ展「官兵衛の兜、ここにあり！」を見てから参加されたお客様が多く、良い記念になったとのお声をいただきました。



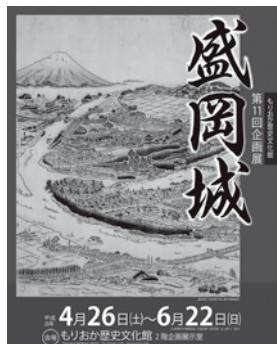
## 平成26年度 開催企画展のご報告

### ◆第11回企画展「盛岡城」

2014年4月26日(土)～6月22日(日)

本展では、藩政時代の歴史や盛岡城の普請に関する古文書・古記録、「城絵図」「城下図」等を用いて、盛岡藩主 南部家が拠点とした盛岡城について紹介しました。

特別講演「文書から見た盛岡城 ～はじめての古文書教室特別編～」(講師:千葉一大氏)や関連イベント「盛岡城跡公園 子ども探検隊」を開催。また子どもたちも展示室内で楽しめるように、職員お手製の「盛岡 ご城下コロコロパズル」設置するなど趣向を凝らしました。



### ◆第12回企画展

### 「江戸のなぞなぞ 判じ絵」

2014年7月26日(土)～9月16日(火)

「なぞなぞ判じ絵」として錦絵を中心とした判じ絵、「盛岡藩で生まれた絵文字」として田山系絵経、盛岡系絵経、田山暦、盛岡絵暦など合わせて155点を展示しました。

「判じ絵クイズラリー」や「みんなで作ろう! 盛岡旧町名判じ絵図」には小学生から大人まで多くの皆様が参加され、ご好評をいただきました。また、特別講演「江戸のなぞ絵 判じ絵について」(講師:練馬区立石神井公園ふるさと文化館 館長岩崎均史氏)やワークショップ「拙者! 捜 判次朗」(講師:prop代表 那須賢輔氏)など多数の連動企画を開催しました。

★「みんなで作ろう! 盛岡旧町名判じ絵図」成果報告は次ページに掲載しています。



### ◆第13回企画展

### 「あの日あの時の盛岡4～馬のいた風景～」

2014年10月26日(日)～12月7日(日)

平成26年度の干支であった馬を主題とし、「名馬の産地」「馬のハレ舞台」「馬のいた風景」の三部構成で紹介しました。

また、1階では連動展示として青山小学校3年生の皆さんのが総合学習で調べた研究成果報告展「チャグチャグ馬コ調べ隊!」を開催させていただきました。



### ◆第14回企画展

### 「花づくし～花鳥を愛でる～」

2015年1月21日(水)～3月15日(日)

日本人に特に愛されてきた桜を筆頭に、南部家伝来の衣装や調度品、花鳥画を展示し、先人たちが愛した花や、花に込められた思いの一端にふれさせていただきました。

関連企画としてワークショップ「南部菱刺し～花模様～」では、伝統的な文様である「梅」を縫い、参加者の皆様には女性らしい冬の手仕事を楽しんでいただきました。



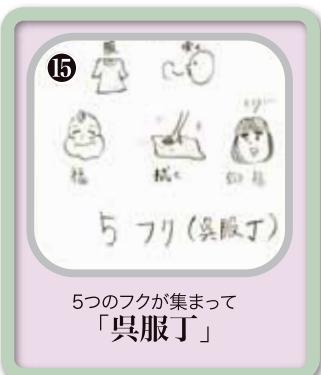


・計259枚もの作品が集まりました。参加してくださった皆様、誠にありがとうございます。  
・町別の最多得票数・館長賞を獲得した作品を掲載しております。

① 蚊(か)が八匹(やつつ)・蝶(ちょう)で「茅丁」	② サイに濁点(・)・クモが逆さまでモク・蝶で「材木丁」
③ なが~い胃腸で「長イ丁」	④ なが~い銀杏で「長イ丁」
⑤ 三人が屁・蝶で「三戸丁」	⑥ 四ツの矢・蝶で「四ツ家丁」
⑦ 鼻に矢・蝶で「花屋丁」	⑧ 歯・菜・矢・蝶で「花屋丁」
⑨ 「YO!課長」で「八日丁」	⑩ カレンダーの8日に蝶がとまって「八日丁」
⑪ 本・蝶で「本丁」	⑫ 「だ」が行くで「大工丁」
⑬ あぶらあげ・蝶で「油丁」	⑭ 愛の上半分で「あ」・プラスバンドの上半分で「プラ」・蝶で「油丁」



判じ絵  
館長  
特別賞



もりおか歴史文化館のアテンダントは、総勢7名で「盛岡コンシェルジュデスク」として、来館者のみなさまへのご案内業務を担当しております。

町なか情報センターにお客様をお迎えし、当施設構成や留意点、展示の見どころをご紹介いたします。館内ではチャグチャグ馬コのあねっこ衣装やさんざ浴衣を着たり、秋祭り半纏を羽織って山車に乗っての記念撮影ができます。写真をお撮りしますので、お気軽にアテンダントまでお声かけください。

展示観覧後のお客様へは盛岡ブランドの紹介やミュージアムグッズの販売と共に、周辺の観光案内を行っております。盛岡ブランド認定商品の展示や販売の他、当館オリジナルグッズや、おすすめのお土産品を各種取り揃えております。アテンダントが作成した商品ポップも参考に、お買い物をお楽しみください。また、盛岡城跡と城下町を中心にパンフレットなどの観光案内や桜や紅葉などの旬の情報、お祭りやイベントのご紹介をいたします。町あるきの前にぜひお立ち寄りください。

この他、2階歴史展示室の入場受付など、来館者のみなさまに当館で気持ちよく過ごしていただけるようお手伝いをしております。当館は盛岡城跡公園の中にあることから、観光客の方だけでなく市民のみなさまにも多くお立ち寄りいただいております。公園さんぽの一休みにもお立ち寄りいただければ幸いです。

みなさまのご来館を心よりお待ちしております。



町なか情報センター 総合案内



2階歴史常設展示室 受付

### ◆学芸トピックス「官兵衛の兜を盛岡へもたらした栗山大膳」

学芸員 太田悌子

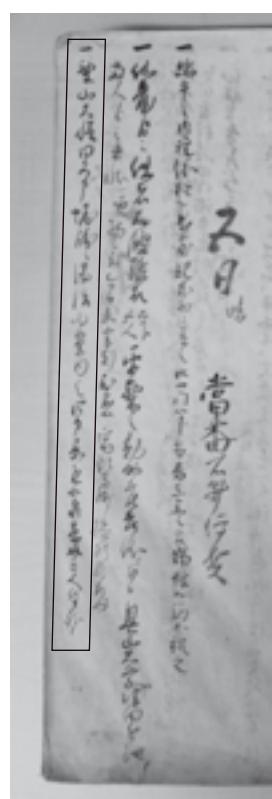
昨年は「大河ドラマ 軍師官兵衛」の影響で、これまで「知る人ぞ知る」という存在であった「銀白檀塗合子形兜（黒田官兵衛所用/当館所蔵）」が注目を集めた一年でした。

この兜は寛永9年（1632）に発生した黒田騒動（福岡藩のお家騒動）で福岡藩家老栗山大膳が盛岡藩に「お預け（江戸時代の刑罰、事実上流罪）」となったことで盛岡へもたらされました。盛岡藩主へ献上された時期等は不明ですが、文政11年（1828）の『御具足御陣道具御判帳』に「柑子形金白檀御冑」という記載があることから、南部家にとって貴重なものと江戸後期には認識されていたことがうかがえます。

盛岡藩家老の執務日記『雑書』にも栗山大膳について記録されています。初出は寛永21年（1644）5月5日の項の田名部蛎崎（現青森県川内町）への湯治についての記載で、以降、滴石（現零石町）への湯治の他、南部家から夏切（新茶）や蜜柑などが贈られていたこと、慶安5年（1652）3月2日の項に病死したこと、その死が幕府へ届けられ、3月18日付の老中奉書（老中が連名で発行する伝達文書）が発給されたことが3月26日の項に記載されています。

※「銀白檀塗合子形兜」を展示する際は、改めて情報を公開いたします。

栗山大膳田名部蛎崎へ湯治、為案内と、四戸甚之丞・小泉甚介二人付越候



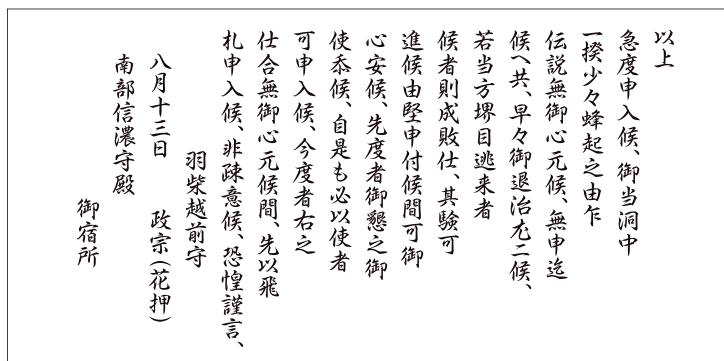
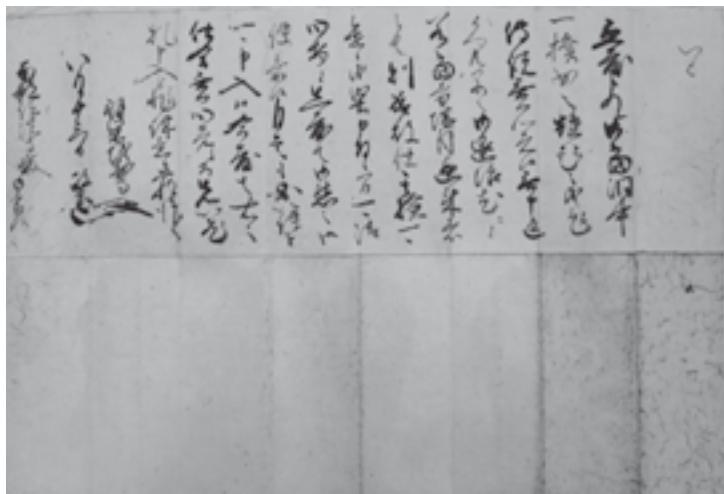
『雑書』  
寛永二十一年五月五日

## ◆平成27年度(2015年4月～2016年3月) インフォメーション

このコーナーでは、もりおか歴史文化館が所蔵する南部家伝来の資料をピックアップしてご紹介していきます。

盛岡は近世大名南部氏によって開かれた城下町です。盛岡藩主南部家は鎌倉時代から続く名家であり、武門を象徴する武具を筆頭に、装束や調度品、書跡など名品の数々が今もなお残されています。

### なんぶとしなおあてだてまさむねしょじょう 南部利直宛伊達政宗書状(慶長5～6年)8月13日付



このは文書は伊達政宗が南部利直に宛てて送った書状です。一枚の紙をそのままひろげて使う縦紙に対して、略式の折紙と呼ばれる様式で書かれています(鑑定などで用いる「折紙付」はこれからきています)。

内容は慶長5年(1600)から翌年にかけて豊臣秀吉によって所領を没収されたが、和賀忠親が、南部領侵入を企てた和賀郡岩崎一揆に関するものと考えられます。政宗は書状の中で、一揆で伊達領に逃げて来た者を成敗することなどを約束しています。真相は不明ながら、この一揆が政宗の策謀によるものと思われる形跡があり、その弁明とも捉えられます。

政宗の自署の代わりに添えられた一種のサインである花押は鶴鵠(スズメ目セキレイ科の鳥)の花押です。天正年間の大崎葛西一揆を扇動した証拠とされる密書に鶴鵠の花押が添えられていましたが、鶴鵠の目に穴が開いていないことから豊臣秀吉の疑いを免れた話は有名です。

## ◆刊行物について(購入方法など)

種別	誌名	価格	送料	備考
図録	『もりおか歴史文化館常設展示ガイド』	700円	210円	残部あり
図録	開館記念特別企画展『南部家の至宝　一名品が伝える盛岡の歴史』	500円	180円	残部あり
図録	第5回企画展『あの日あの時の盛岡　一明治・大正・昭和の風景』	500円	180円	残部あり
図録	第13回企画展『あの日あの時の盛岡　一馬のいた風景』	500円	180円	残部あり

※送料はゆうメール料金です

### ◎刊行物のお求め方法

- 直接購入のご案内:もりおか歴史文化館のミュージアムショップで販売しています。
- 郵送でのご購入:①電話(019-681-2100)またはE-mail(info@morireki.jp)で事前にお求めの図書の在庫状況をご確認ください。  
②希望する図書の冊数、および氏名・送付先・ご連絡先を記入いただき、代金を下記宛に現金書留でお送りください。  
郵送料は切手で、図書代金は現金でお願いいたします。  
③代金到着後、図書を発送いたします

## ◆平成27年度(2015年4月～2016年3月) インフォメーション

次の企画展は

### 「旅の枝折 ～みちのく観光のみちしるべ～」

江戸時代は「旅」が身近になった時代といわれています。盛岡藩領を旅した人々の足跡を示す資料を中心に、当時の旅事情を紐解くと共に、盛岡藩領の「見どころ」を様々な資料からご紹介します。

#### ◆関連イベント「手作り草履で盛岡城散策」

日時:5月4日(月・祝) 9:30～12:30【草履づくり】  
14:00～15:00【盛岡城跡公園散策】  
定員:15人 参加費:1,000円(材料費・保険料込)

#### ◆関連講座「史料から読み解く江戸時代の旅」

日時:5月31日(日) 13:30～15:00  
内容:主に江戸時代の史料を中心に、当時の「旅」について読み解く。  
講師:熊谷博史(当館学芸員)  
定員:50人

※関連イベント・講座は事前予約制になります。申込方法の詳細は当館ホームページ、企画展チラシ等でご確認ください。



「委波氏廻夜摩(岩手の山)」菅江真澄著(江戸中期)

## 行 事 案 内

### 【企画展】

- ◆「旅の枝折 ～みちのく観光のみちしるべ～」 4/25(土)～ 6/15(月)  
◆「あの日のあの時の盛岡 ～懐かしの昭和～」 7/25(土)～ 9/27(日)  
◆「盛岡の文化財展」 11/21(土)～ 1/18(月)

### 【テーマ展】

- ◆「五月人形展」 4/22(水)～ 6/15(月)  
◆「戦争の記憶～戦後70年～」 6/17(水)～ 8/17(月)  
◆「刺子半纏～粋な火消たち～」 8/19(水)～10/19(月)  
◆「岩手の焼物」 10/21(水)～12/14(月)  
◆「めでたづくし～七福神がやってきた～」 12/16(水)～ 2/15(月)  
◆「雛人形展」 2/17(水)～ 4/18(月)

### 【れきぶん講座】

- ◆岩手大学名誉教授の細井計氏が家老席日誌「雑書」に基づき盛岡藩の実態を明らかにしていきます。  
【日時:6/21(日)・8/30(日) 13時半～15時半】  
◆青山学院大学非常勤講師の千葉一大氏が、史料1点の読解・内容理解に重点を置き、盛岡藩の多面的な姿を明らかにします。  
【日時:9/13(日)・3/13(日) 13時半～15時半】  
◆元岩手県立博物館長の金野静一氏が、伝承や説話等を基にし、古代から中世の東北の姿を追います。  
【日時:11/29(日)・2/28(日) 13時半～15時半】

※上記の講座は事前予約制で、各回定員50人となります。  
申込方法の詳細は、当館ホームページやイベントスケジュール等で必ずご確認ください。

### 【イベント】

#### ◆歴文館リーディングカフェ

館長 畠中美耶子が、盛岡ゆかりの文学作品等を様々な演出で紹介します。お茶・お菓子を食べながらゆったりとした時間を過ごしてみませんか?

内 容	開催日
石川啄木「ローマ字日記」	5/24(日) 14時～15時
立原道造「盛岡ノート」	7/26(日) 14時～15時
もりおか昔話	11/ 1(日) 14時～15時
聖夜に贈る「ことば」 ～アルバ演奏にあわせて～	12/25(金) 14時～15時

※事前予約制で、各回定員15人、参加費1,000円となります。  
予約開始日は、開催日の前月18日 10時半からとなります。

### 【恒例イベント】

日 時	イ ベ ント 名・内 容	定 員	料 金
常 時	昭和の遊び体験	なし	無料
毎月第3土曜日 14時～15時	盛岡弁で語る昔話	約50人	無料

※恒例イベントは展示室入場料が必要になります  
※この他にも様々な季節のイベントをご用意しております

- 各催しのタイトル・内容等は予告なく変更される場合があります。  
●講座・講演会、イベントの詳しい日程や時間・定員等、またこれ以外の催しは、当館ホームページやイベントスケジュール等でご確認ください。また、事前申込が必要な場合は、内容をよくご確認の上ご応募ください。  
●催しの内容は、平成27年3月28日現在のものです。

### ご利用案内

〈開館時間〉4月～10月 9:00～19:00(2階歴史常設展示室への入場は18:30まで)

11月～3月 9:00～18:00(2階歴史常設展示室への入場は17:30まで)

〈休 館 日〉毎月第3火曜日(祝・休日の場合は翌日) 12月31日～1月1日

〈入 館 料〉入館は無料です。

	個 人	団 体 (20人以上)
小・中 学 生	100 円	80 円
高 校 生	200 円	160 円
般	300 円	240 円

○障がいをお持ちの方やその介護をなさる方(付添いを含めて2人まで)は、無料で入場できます。

○盛岡市在住で65歳以上の方は、入場料が免除されますので、係員に各種保険証等をご提示ください。

○盛岡市内の学校に就学している小・中学生の方は、入場料が免除されます。

○企画展をご覧になる場合は、別途入場料が必要となる場合があります。

〈交通の案内〉 ●電車をご利用の場合 ○JR盛岡駅下車 徒歩20分

●バスをご利用の場合 ○岩手県交通・岩手県北バス

●お車をご利用の場合 ○盛岡IC・盛岡南ICから車で25分

※当館の敷地内に一般車両の駐車スペースはございません。隣接する「盛岡城跡公園地下駐車場」(有料)など近隣の駐車場をご利用ください。



## もりおか歴史文化館

Tel:020-0023 盛岡市内丸1番50号  
Fax:019-681-2100 http://www.morireki.jp/